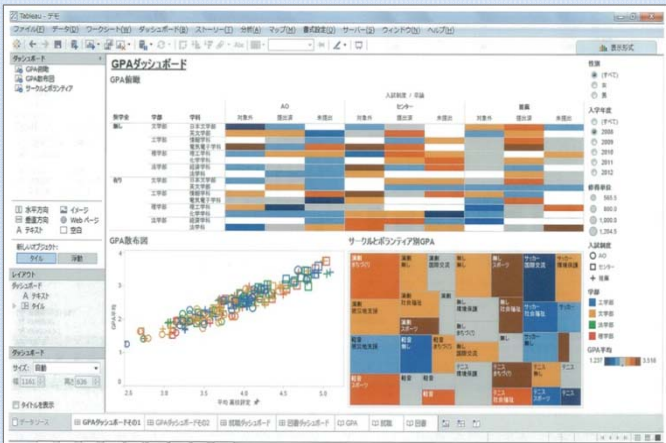


平成28事業年度に係る業務実績の概要

1. 教育

- 教学関連IRの体制整備等
 - ・平成28年10月1日付でIRを担当する助教1名を新たに採用
 - ・「大学生基礎力ゼミ」を受講した学生の特徴や成績分布、履修行動の傾向などの分析作業を開始
 - ・統合データベースと分析ツールを導入し、アドミッションセンターにおいて入試区分による学業成績の追跡調査等を継続するための体制を整備

※IR（インスティテューショナル・リサーチ）大学運営に係る学内外のデータの収集、分析及び調査研究を行うことにより、本法人の意思決定を支援すること



教学関連IR 分析イメージ

- 分野横断型授業科目の導入
 - ・全学横断特別教育プログラムとして、平成29年度から「ローカル・イノベーター養成コース」を設置することを決定
- 障害者差別解消法に対応した学生支援の推進
 - ・「信州大学障害学生支援マニュアル」を発行
 - ・障害学生支援室のリーフレットを作成・ホームページを公開
 - ・PCノートテイクー養成講座を開催（受講者数30名、学生サポーター養成数7名）

PC ノートテイクー養成講座

基礎編 受講生募集

★ PC ノートテイクーとは？

ノートテイクとは「文字通訳」のことで、聴覚障害などの障害によって話し手の音声聞き取れない、もしくは聞き取りにくい方のために、話し手の音声を文字に変えて伝えることです。今回は、パソコンを使って同時通訳する方法を学びます。

PC ノートテイクー

講師：庄司和史教授
(本学 聴覚障害・聴覚障害専門委員)
NPO 法人 長野サマライズ・センター
場 所：信州大学 松本キャンパス 全学教育機構
大会議室 両校舎2階
受講料：無 料

★ PC ノートテイクー養成講座ー基礎編ー 全6回

○時間 16：20～17：50

・5/10（水） 講義「ノートテイクーにかかわる基礎的事項」
講師：信州大学 庄司和史 教授

・5/17（水） 実技① 講師：認定 NPO 法人 長野サマライズ・センター

・5/31（水） 実技② 講師：認定 NPO 法人 長野サマライズ・センター

・6/14（水） 実技③ 講師：認定 NPO 法人 長野サマライズ・センター

・6/28（水） 実技④ 講師：認定 NPO 法人 長野サマライズ・センター

・日程調整中（土） 講義「どのような支援が必要か？」 講師：経典 彩さん

※ 全回回受講者には、受講終了後「修了証」をお渡しします。
※ 受講には、個人のPCをご持参ください。

★ 申し込み方法

講座開催の前日までに、①氏名、②学籍番号、③所属学部を、学生相談センターのメールアドレスに送付するか、学生相談センターの窓口までおいでください。

【お問い合わせ】 信州大学 学生相談センター（担当：藤田・中島）
TEL：0263-37-3165
E-mail：nandemo@shinshu-u.ac.jp
http://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/soudan/

2. 研究

- 次代クラスター研究センターの発足
 - ・次代の研究群研究所を目指す研究グループの育成に向けて、5つの研究センターから成る「信州大学次代クラスター研究センター」を平成28年10月1日に発足



- Rising Star教員の早期昇進
 - ・顕著な業績を上げたRising Star教員1名の平成29年4月1日付での早期教授昇進を決定
 - ・新たに1名をRising Star教員として認定
- 先鋭領域融合研究群の特色のある研究活動の進展
 - ・歩行アシストサイボーグプロジェクト、ウェアラブルバイタルサイン測定システム開発プロジェクト、最先端電池材料の研究開発と人材育成プロジェクトを推進
- 次代研究プロジェクトへの支援
 - ・次代研究プロジェクト支援（URAファンド）を新設し、URAの推薦した研究プロジェクトに対して総額約500万円の研究費を支援

- 航空宇宙関連分野の研究開発実施体制の整備
 - ・長野県知事を代表とし、信州大学、経済産業省、JAXA、飯田市など産学官の各団体の代表者で組織された「長野県航空機産業推進会議」を発足
 - ・信州大学航空機システム共同研究講座コンソーシアムの支援を受け、飯田下伊那地域に新たな拠点を構え、「信州大学航空機システム共同研究講座」を平成29年4月1日に設置することを決定
- 学術研究・産学官連携推進機構（SUIRLO）等の設置
 - ・平成28年4月1日付で学術研究推進機構及び産学官・社会連携推進機構（リサーチアドミニストレーションセンターを含む）を一元化
 - ・各キャンパスにステーションを設置し、本部との連携体制を整備



航空宇宙システム研究センターの各部門と設置の背景



航空宇宙関連分野の研究開発実施体制

- 研究の質の向上
 - ・「アジアで最もイノベティブな大学ランキング」で39位（国内14位）にランクイン

3. 社会貢献

- 「信州アカデミア」事業の推進
 - ・第3期「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」を開講
 - ・PBL (Project Based Learning) 形式による講座
 - ・平成28年度は48名の修了生を輩出
 - ・地（知）の拠点整備事業採択校に対する評価で、S評価（計画を超えた取り組みであり、本事業の目的を十分に達成することが期待される）を獲得
 - ・評価校76校中、S評価は7校（9.2%）



第3期「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」

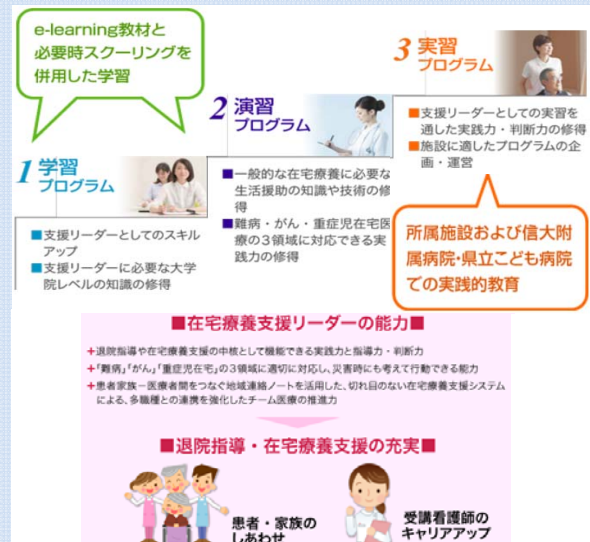
4. グローバル化

- グローバル化への対応
 - ・特別選抜留学生プログラムとして、平成28年度はタイ国SKR高校から2名の予備留学生を受け入れ、長期予備教育を実施
 - ・そのうち1名は正規留学生として平成29年4月に入学を予定
 - ・国際感覚の涵養を目的とした異文化サロン等、学生の留学を促す取組を実施
 - ・知の森基金から支援を受け、「グローバル人材育成のための学生への短期海外活動支援」を実施
 - ・目標としていた200名を上回る計358名の学生を海外に派遣

件名	件数	派遣人数(名)
交換留学	-	39
大学間協定及びその他短期派遣	3	3
海外活動支援プログラム	17	187
その他短期プログラム	15	104
海外ボランティア	-	24
Erasmus+	1	1
合計	36	358

5. 附属病院

- 実践力ある在宅療養支援リーダー育成事業の展開
 - ・中期目標期間の目標数20名を超え、第1期生51名に修了証書を授与
 - ・第2期生52名の受入れを決定
- 「信州大学院内助産リーダー養成コース」の開講
 - ・長野県内における院内助産の普及促進を目的に平成28年10月3日に開講、第1期生を4名輩出
- 病院運営に係るマネジメント体制の整備
 - ・経営・管理・運営担当の副病院長をトップとした経営推進部門を平成28年4月に設置
 - ・正確なデータの提供と分析等を目的とする経営推進課を平成28年10月に新設



実践力ある在宅療養支援リーダー育成事業

6. 附属学校

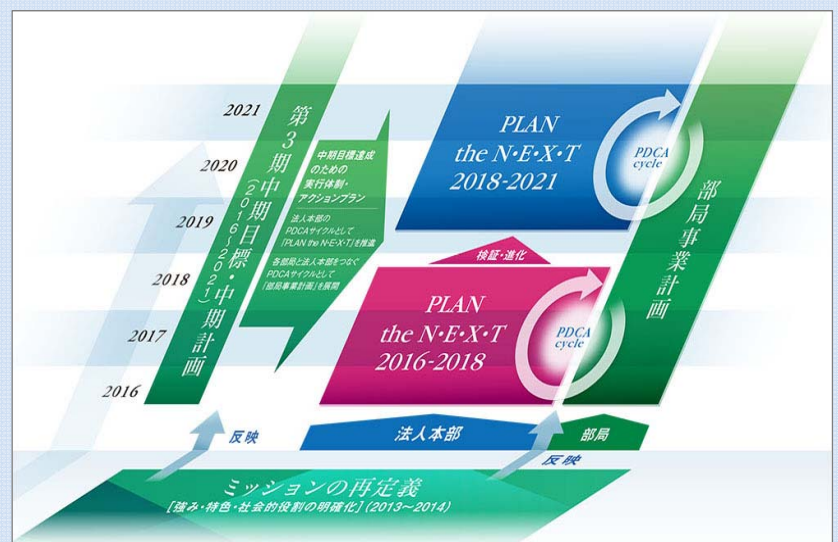
- 長野県の教育課題への取組
 - ・ICT活用に関わる授業の公開授業を実施
 - ・教育実習においてICT活用による授業の実践を義務化
 - ・小・中学校におけるプログラミング教育の関連教材（レゴブロックとプログラミングアプリScratchを連動させた教材）を検討



ICTを活用した授業

7. 業務運営等

- 「PLAN the N・E・X・T 2016-2018」の策定・共有
 - ・学長のリーダーシップのもと各理事・副学長が第3期中期計画をどのように実施していくかを定めた「PLAN the N・E・X・T 2016-2018」を策定
 - ・このPLANを冊子として教職員及び学外関係者に配布
 - ・各理事・副学長の施策の進捗状況を定期的に確認する「PLAN the N・E・X・T ミーティング」を戦略企画会議で実施
 - ・執行部が各部局を訪問して教職員に対する説明・意見交換を実施、また意見交換の内容も学内で共有



PLAN the N・E・X・Tの趣旨

- 女性教職員比率・管理職比率の向上
 - ・女性教職員比率が15.3%（平成27年5月1日時点）から16.0%（平成28年5月1日時点）に向上
 - ・役員を除いた教職員における管理職の女性比率が6.8%（平成27年5月1日時点）から10.1%（平成28年5月1日時点）に向上

- USRLレポート2016-2017の発行・共有
 - ・平成24年から開始し4冊目となるUSRLレポート（本学の取組を大学が社会に対して果たす責任という観点で整理し、大学のステークホルダーに紹介するための報告書）を9,000部発行し、学内外に配布

